

「脳神経外科バイブル I 脳血管障害を極める 改訂第2版」 正誤表 (2026年3月追加)

ISBN 978-4-8159-1843-9

■ 25頁の上から4行目

誤 : 「異常 ; 圧の上昇がないか遅い、圧上昇が 10mmH₂O に達しない、あるいはもとの . . .

正 : 「異常 ; 圧の上昇がないか遅い、圧上昇が **100mmH₂O** に達しない、あるいはもとの . . .

■ 63頁の下から10~9行目

誤 : (ii) 通常、外転神経麻痺が最も障害されやすく < (43%)、以下、三叉神経障害 (32%) > 動眼神経麻痺 (20%) > 視力障害 (18%) の順である。

正 : (ii) **内頸動脈海綿静脈洞部に脳動脈瘤が存在する場合には、外転神経が最も障害されやすく < (43%)、**以下、三叉神経障害 (32%) > 動眼神経麻痺 (20%) > 視力障害 (18%) の順である (**※Linskey ら、1990**) 。

(**※Linskey ら、1990**)

Linskey ME, Sekhar LN, Hirsch W Jr, et al : Aneurysms of the intracavernous carotid artery : Clinical presentation, radiographic features, and pathogenesis. Neurosurgery 26 : 71-79, 1990.